

武蔵野市議会議員

内山さと子

活動報告 2016 秋号 No.28

内山さと子&のびのび歩む会

〒180-0012 武蔵野市緑町 2-3-A7-501 TEL080-3758-1057

Email satochi@y8.dion.ne.jp <http://satoko-uchiyama.mond.jp>



大地震に備える 地域の共助の取り組みを 自主防災組織・医療連携・給水体制は

9月5日から30日まで、市議会第三回定例会が開かれ、平成28年度補正予算の審査、平成27年度決算の認定等が行われました。内山さと子は、「大地震に備える 地域防災の取り組みについて」一般質問しました。

今年6月、東海地震の予知を前提とした大規模地震対策特別措置法の見直しが始まりました。日本列島はM7クラスの地震が相次いでおり、断層帯が縦横に走っています。水や食料の備蓄など自助の備えに加えて、日頃から地域での共助の取り組みが重要です。避難所運営や情報連絡体制、災害弱者の対応、各コミュニティセンターの役割など、多岐にわたって質問しました。

地域の防災組織の充実、リーダー養成

内山 災害時に、誰がいつどのような行動をするかを全体で共有できる図上訓練を、自主防災の活動に取り入れるてはいいか。また、防災アドバイザーの派遣の検討を。市長 全体把握ができる図上訓練は有効であり、地域でも実施できるようにしたい。また、職員だけでなく、民間の専門家の活用も検討したい。

都の防災公園の役割と市・住民との関係

内山 都立武蔵野中央公園が都の大規模救出救助活動拠点(*)に指定された。その役割と、今年7月締結した公園管理者との協定内容、また、同公園拡張部分に設置された飲料水兼用貯水槽の使用方法について、住民への周知・説明をすべきではないか。



いざという時あわてないために日頃の防災訓練を

市長 同公園は、発災後1〜2日は市の広域避難所として、応急復興時は仮設住宅予定地として、位置づけられているが、さらに都の防災公園としての位置づけが加わった。貯水槽は水道部の応急給水拠点として開設する。近隣住民に對して、機会を捉えて説明していきたい。

*災害時、ヘリコプターの離着陸など含め、警察・消防・自衛隊等の広域支援、救助部隊のベースキャンプとなる(都内21カ所)。帰宅困難者は620人 吉祥寺地域の病院機能は

内山 災害時の医療連携について、吉祥寺地区の病院機能の確保に関する緊急対策会議の進捗状況について報告を。市長 今後の病院建て替えも見据え、将来の地域医療ビジョンを検討しており、年内を目途に報告したい。